

★本の大きさについて★

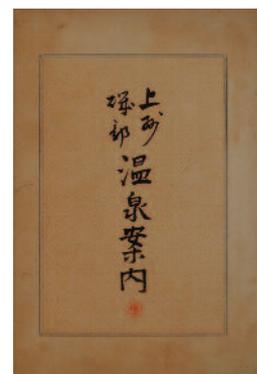
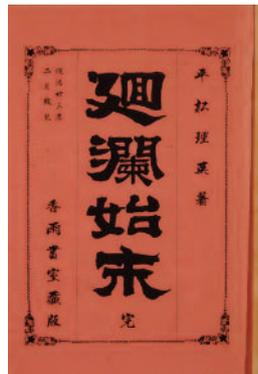
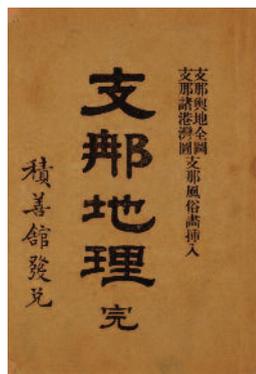
半は半紙判、洋装本の菊判（A5）に相当するもの。中とあるは美濃半截、洋装の四六判（B6）に相当。小は半紙半截以下のもの。大は美濃判、又はそれ以上の大形本。横は横綴本を指し、三ッ切は美濃判や半紙判を横に三つに載ったものを指します。

001 日本地學辭書 背革装釘 中屋活版所印刷 明 14 四六倍判 1 冊 50,000  
 =河井庫太郎編 河井鑄藏訂正 惣郷文庫舊藏本

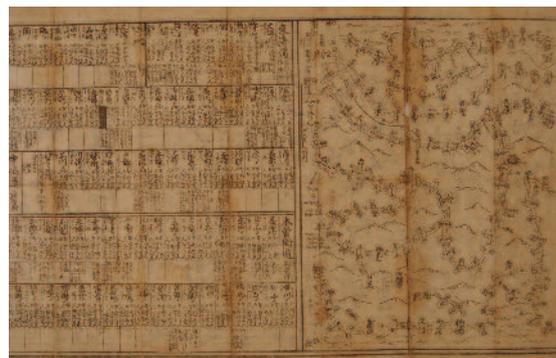
002 撰西 兵庫名所記 上下巻 元合本 簽 寶永 7 年 8 月 刊 半 1 冊 80,000  
 =草澤医生序 撰州兵庫津菊屋新右衛門板



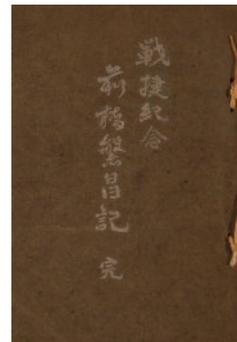
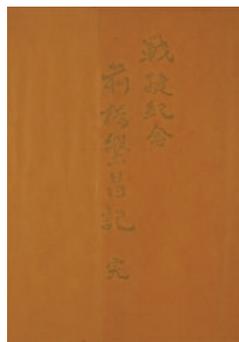
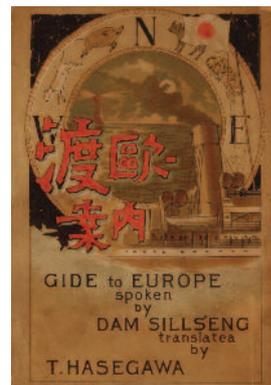
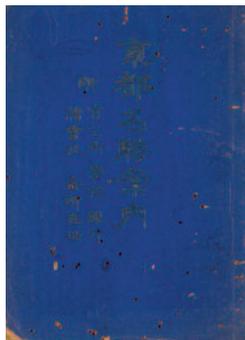
- 003 支那地理 初版 四六判 松本仁吉著 明 27 四六判 1 册 品切れ  
=支那風俗画挿入 (銅版)
- 004 三河大濱 廻瀾始末 初版 美本 平松理愛著 明 23 四六判 1 册 10,000
- 005 實用北海道郡區町村案内 訂正 10 版 廣瀬清澄編 明 42 文庫判 1 册 10,000  
=函館書肆 大盛堂發兌
- 006 伊香保案内 戸丸國三郎著 日本温泉協會代理部 大 13 四六判 1 册 品切れ
- 007 いそべ案内 池田宗平編 大手萬平廣告 明 29 四六判 1 册 8,000
- 008 上州磯部 温泉案内 堀口精一編 篠原廣吉印刷 明 26 四六判 1 册 5,000



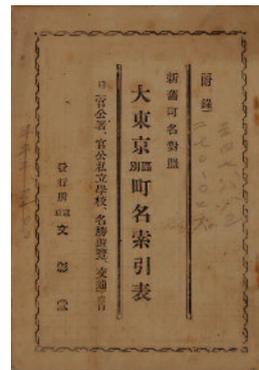
- 009 東海木曾 兩道中懷寶圖鑑 簽擦れ 須原屋茂兵衛 天明6 小1冊 20,000  
 010 五街道中細見記 簽欠 大橋屋良助序 安政5年刊 三ツ切1冊 品切れ  
 011 新板改正 木曾道中記 東濃茄子川志のや 文政10年2月刊 小横1冊 10,000  
 012 諸國案見 道中獨案内圖 30×77cm 兩面摺 文政5改正再版 1帖 品切れ



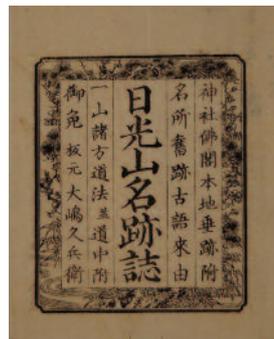
- 013 増補 華洛細見圖繪 初篇 東山之部 簽 池田東籬 文久4 中1帖 品切れ  
 014 京都名勝案内 少虫 大島旛山著 小林書店 明43 文庫判1冊 2,500  
 015 渡歐案内 英國シルセン著 長谷川善作譯 駭々堂 明35 四六判1冊 品切れ  
 016 戦捷紀念 前橋繁昌記 袋附 極美本 豊國義孝編刊 明40 四六判1冊 品切れ



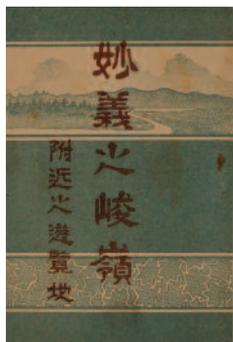
- 017 水戸地方名勝一目 40×56cm 水戸／折笠義路編 明 41 1枚 3,000
- 018 新舊町名対照 大東京區別町名索引表 文彰堂 昭 12 四六判 1冊 3,500
- 019 古今類聚常陸國誌 原著者不詳 藤田仁太郎發行 明 35 菊判 1冊 品切れ  
=副島種臣・高橋諸随序 野口勝一跋
- 020 東都歳時記 卷之二夏之部 題簽(三) 江戸末期刊 半1冊 品切れ



- 021 前橋案内 野條愛助編 前橋厩城館發行 明 31 菊判 1冊 品切れ
- 022 米澤叢詠 米澤市／小嶋秀精著 明 29 四六判 1冊 8,000
- 023 建勲正蹟 北海史論 簽 鯉外今井徹著 奚疑書院 明 26 半 1冊 20,000
- 024 宮城寫真帖 附新宿御苑 大日本國民教育會編 大 12 菊橫判 1冊 2,000
- 025 三浦大觀 銅版附圖入 佐藤善治郎著 民友社 大元 四六判 1冊 品切れ
- 026 御山繪圖 日光山名跡誌 簽 袋附 天保 11年 2月改版 中 1冊 品切れ  
=御免／日光石屋町／大嶋久兵衛藏板 極美本 明治摺？



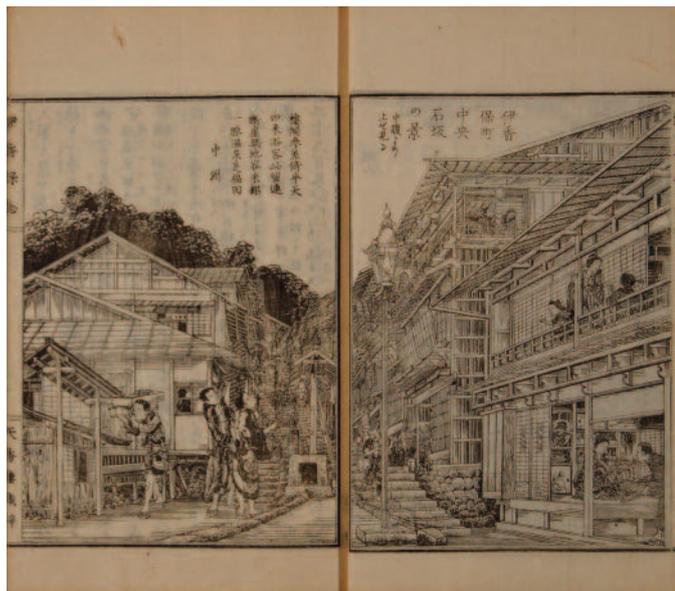
- |     |          |             |             |        |     |       |       |
|-----|----------|-------------|-------------|--------|-----|-------|-------|
| 027 | 高崎八景     | 新曲くる満       | 半井桃水作       | 巻末麥酒廣告 | 大正  | 新書判1冊 | 2,000 |
| 028 | 妙義之峻嶺    | 附近之遊覽地      |             | 寺島平三郎編 | 大10 | 四六判1冊 | 3,000 |
| 029 | 長野原町志    |             | 萩原太一郎編      | 長野原町役場 | 昭4  | 四六判1冊 | 品切れ   |
| 030 | 前橋市案内    | カバー附        | 群馬縣協賛會前橋委員會 |        | 明43 | 四六判1冊 | 品切れ   |
| 031 | 相馬靈場案内   |             | 附圖附         | 吉原精一著刊 | 大4  | 新書判1冊 | 品切れ   |
| 032 | 置賜縣治一覽概表 | 簽 47×59cm   | 置賜縣藏板       |        | 明7  | 1冊    | 品切れ   |
| 033 | 長野縣一覽概表  | 簽 98×32.5cm |             |        | 明6  | 1冊    | 品切れ   |

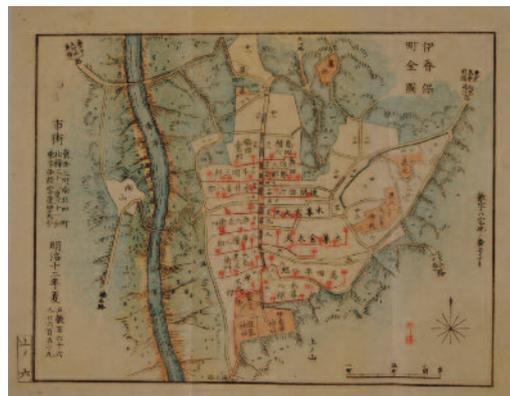


034 伊香保志 上中下巻

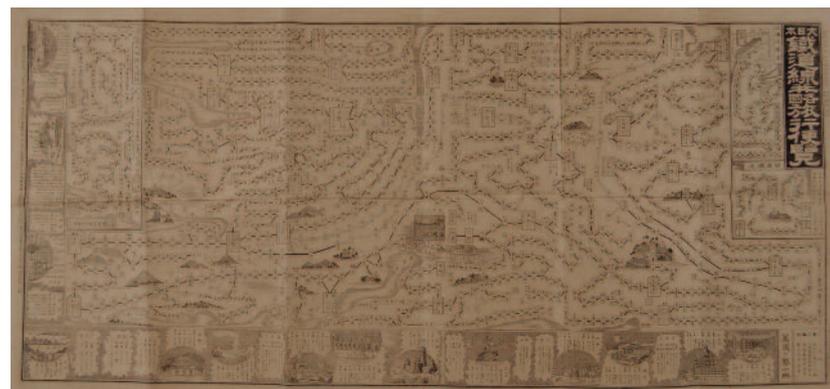
箆 袋附 帙入 大槻文彦編 天香樓藏梓 竹中邦香出版 明15 半3冊 85,000

=この有名なる伊香保志は伊香保だけを記した名所案内ではなく、上巻は板橋志村から中仙道を経て高崎から伊香保に至る繪入道中記となっていて、中巻では伊香保周辺から伊香保沼、榛名神社などの名勝案内とし、下巻では伊香保の舊事について論じています。上中巻に多く綴じ込まれている挿繪の繪師については記されていないようですが、相當な腕前を誇り西洋繪画的な遠近法を駆使した優れたもので、實に細かく正確に寫生したであろうこの挿繪は、當時の景觀を知る上で参考になるに違いない優れた名所圖繪と思います。袋附の傳本は希。藏書印有り。第2巻の版心にシミあり。





- 035 上總國誌 6卷 箋 安川惟禮編 彫刻會社活版所 明12 半6冊 20,000  
 036 京都名所案内記 箋 京都市庶務部觀光課編 昭8 中1冊 品切れ



- 037 大日本 鐵道線并各國旅行便覽 36×78 銅版 明36 1枚 10,000  
 038 江の嶋金澤 鎌倉名所記 摺外題極美映入 戸川 明6 半1冊 10,000

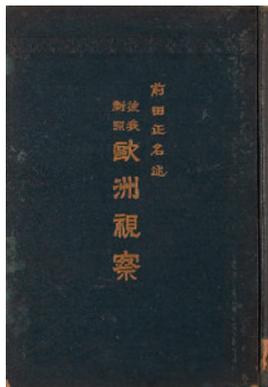
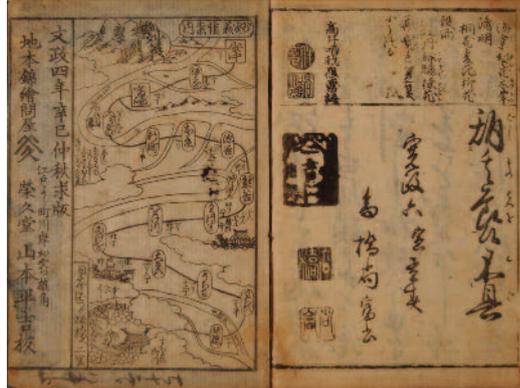
039 新板 上州妙義詣



箋 高井晒我撰 山本平吉 文政4



中1册 15,000



040 堺市案内記

谷恒三郎編 堺商業會議所

第五回博覽會堺市協贊會

明36

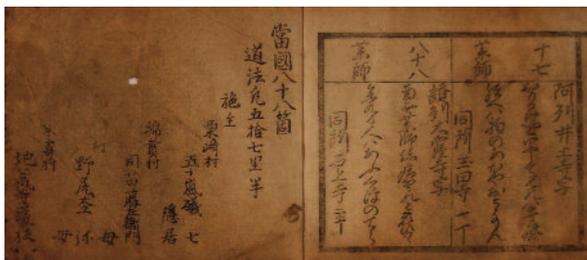
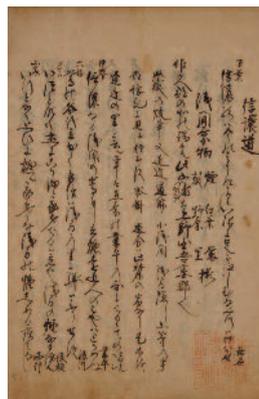
四六判1册 25,000

041 彼我對照 歐洲視察

1頁落丁 前田正名述

明44

四六判1册 5,000



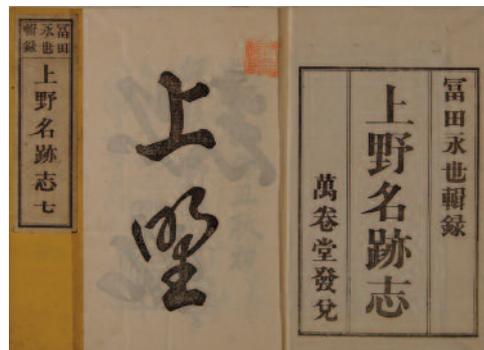
042 印施 上野國八拾八箇所道之記 摺外題 帙入 施主/栗崎村/五十嵐儀七 地藏寺藏板 文政8年  
043 信州名所記

小横1册 35,000  
大1册 25,000

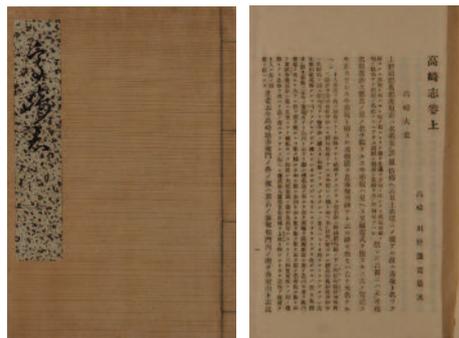
寫本 13丁 江戸末期寫

- 044 東海道木曾路 新版 道中記 籤欠 首尾傷み 天明4年3月 小横 1册 20,000
- 045 日本地名箋 上下巻 籤 西野古海纂輯 明7 小 2册 10,000
- 046 鎌倉大観 附圖附 7版 佐藤善治郎著 松林堂書店 大2 四六判 1册 10,000
- 047 北方町志 末尾「著名家案内」 岐阜縣北方町役場編刊 昭7 四六判 1册 10,000





- 048 上州相馬山 我樂目嬉鑛泉之圖 袋附 40×53 無刊記 1枚 80,000  
 =内題「我樂目嬉鑛泉湯元 阿蘇山館松本福次郎客室之圖」  
 耕涛画圖 前橋市曲輪町開進堂石印 幻の温泉ガラムキ温泉の圖



- 049 画入改正 諸國道中記 籙 村田徹典輯 明9 三ツ切1册 20,000  
 050 上野名跡志 7卷 籙 美本 富田永世輯録 明34 半7册 品切れ  
 =藤井萬喜太發行 前橋堅町/萬卷堂書店  
 051 高崎志 上下元合本 籙 極美本 川野邊寛纂述 明43 半1册 品切れ  
 =豊國義孝編 上毛タイムス社編輯所

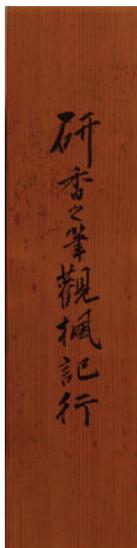




- 052 香川縣小豆島案内 岡部茂太郎著刊 大9 四六横判1冊 品切れ  
 053 高崎案内 高崎市協賛會 澤田喜代藏印刷 明43 新書判1冊 品切れ  
 054 多かお (高尾寫眞集) 生寫眞10枚貼附 明治末頃 四六横判1冊 5,000  
 055 上野國赤城山梨木鑛泉之圖 石版彩 39×55 明治末 1枚 15,000  
 =上州勢多郡黒保根村/梨木館/深澤直十郎 袋附







057 研香之筆観楓記行

1巻 1,000,000

=上州鳥村の画家金井研香が松井田城趾の邊りから横川の關、坂本宿、碓氷峠を上り峠の熊野神社から淺間山を望んで信州輕井澤宿迄の中山道を描いた道中繪卷。多少のデフォルメがあるものの横川の關所に坂本宿、直に現れる最大の難所刳石坂を上って坂本宿を見下ろせる硯(ノゾキ)、そこから比較的平坦な尾根傳いの道中を経て峠の熊野神社に至る地形や距離感が精確で鳥瞰的に描かれており、當時の往還を偲ばせつつも碓氷峠の優れた繪畫資料として評價できる繪卷ではないだろうか。金井研香は10歳年上の實兄である南画の大家金井烏洲に學び、江戸では谷文晁、春木南湖の門下となった。名は壽、字名は壽平。號、無涙・毛山・神農臺・關東賣畫翁など。しの木弘明氏曰く「天保初年富貴を願わず、貧を恨まずといい、境町に借家して専門画家となり画業精勵、東毛文壇を指南せり・・・神通の画工なり」。巻首に「賣畫翁」朱印。巻末「是歳癸亥晚秋」。「毛山僊史金壽」。「癸亥」は文久3年。研香は文化3(1806)年生まれで明治12年歿。本卷は57歳頃の作。紙高30.3 厘センチ。長さは900センチに及ぶ長卷。桐箱入。



横川の関



坂本宿



熊野神社





觀





淺間山・輕井澤宿

